

9月15日～16日(2日間)

平成21年度決算審査



特別委員会Q&A

平成21年度幕別町各会計決算審査特別委員会が、9月15日、16日の2日間開催され、一般会計から水道事業会計までの11会計について、歳入、歳出それぞれ説明後、活発な審議を行いました。決算審査の過程の中で、各委員の質問の一部を要約して掲載します。

質疑の主な内容

【一般会計歳出】

役場庁舎内トイレの洋式化について

Q高齢者、車いすの方も来庁するので、庁舎内トイレを洋式化する必要があるのではないか。

A庁舎の構造上難しい面があるので、本年、庁舎の耐震化に向けた改修の委託をするので、その中で一緒に検討したい。なお、車いす対応のトイレは地下1階にあるので、利用しやすいように、わかりやすい表示をするようにしたい。

地域活性化対策臨時交付金事業について

Qこの事業での町内業者への発注状況について伺う。

A工事請負費、委託料は概ね町内業者に発注している。備品購入費は特殊なものを除き、町内業者に発注している。

予防接種について

Q子宮頸がんワクチンについて管内初めて一部助成を決めたが、今後全額助成も含め子宮頸がんやヒブワクチンについての方針、考え

方伺う。
A町では種々の感染予防に対してどのような対応をとるか、検討を重ねた結果、第1弾として子宮頸がんワクチンの一部助成ということを決めた。今後も、国、道等の動向を見ながら検討し考えていきたい。

ごみの分別について

Qマンション、アパートで分別されていないごみを取り残されている。分別されていないごみの対応はどうしているか伺う。

Aごみの中身を確認し、人物が特定された場合は、直接町で指導している。マンション等については、所有者、管理会社を通じて協力を依頼している。不適切な事例があったマンションでは、管理者がチラシを作り各戸に配布して指導を行った。このことから、これからは少しずつ向上していくものと思っている。

クラブアップル事業について

Q特に40歳以上の方たちの、花嫁対策事業に対してどのような対策を講じていくか伺いたい。

Aアドバイザーを通して、個別に対応もしているが、交流会で女性

就学援助について

Q就学援助の率が下がっているが申請手続きや周知はどのように行っているか伺う。

A在校生については、3学期終了以前に、新1年生は入学式終了後に、またその後全保護者に周知しているが、配布の際に一言加えるなど、学校側と検討していきたい。

【特別会計】

《国民健康保険特別会計》

国民健康保険の滞納状況について

Q滞納世帯への対応と、資格証明書の発行数、短期資格証の発行状況について伺う。

A夜間訪問等を実施しているが、訪問しても会えない、置手紙をしても連絡をもらえないなど、苦慮している。

平成22年6月1日現在で、短期被保険者証対象世帯は居所不明を除き270世帯、同じく資格証明書対象世帯は5世帯となっている。

《介護保険特別会計》

施設入所希望者の待機状況について

Q施設入所を希望して待機状況と今後について伺う。

A平成22年7月末現在、札内寮で95名、老健あかしやで26名、大樹町の特老で12名いる。

忠類に地域密着型の老人ホームもできるが、ベッド数については広域型では十勝圏全体で数が決まっているなど、国の考えかたも見据えて施設の在り方、保険料の見直しについて、色々な視点から検討していきたい。

《公共下水道特別会計》

水洗化の状況について

Q下水道の普及率について伺う。

A公共下水道の普及率は、97・8%で、全体では85%となり、今後、農村地区での個別排水処理による水洗化の普及に努めたい。

《水道事業会計》

水道使用料について

Q給水停止の通知状況について伺う。

A平成21年度の停止予告件数は、518件あり、給水停止通知をおこなった件数は264件である。そのうち、給水停止をおこなった件数は25件あり、その後23件については開栓をおこない、最終的に給水停止になった件数は2件である。

と接するには抵抗感があるように聞いている。今後、アンケート調査の実施予定があり、どのような事業が適しているか調査し、それらを分析しながら対応していきたい。

商店街活性化店舗開店等支援事業補助金について

Qこの事業による町として、どのような評価をしているか、今後の事業の見通しについて伺う。

Aこの事業で4店舗開業し、今までシャッターの閉まっていたところに店が開いて、そこに人が集まるといふことで、従前から見たらにぎわい、人の流れは出てきたのかな思っている。今後、この事業に協力いただける店舗を掘り起こし、事業が継続することで店舗が埋まっていく形になればと思っている。

百年記念ホール指定管理について

Q指定管理制度での効果はどのように考えているか伺う。
A各種講演や生涯学習講座が増え、独自事業なども盛んに行われ利用が伸びて効果があがっており、経費面でも健全経営をしていると判断している。

会計名	平成21年度決算額	平成20年度決算額	対前年度比	
一般会計	14,824,053,861円	13,190,717,077円	1,633,336,784円	
特別会計	国民健康保険	3,093,448,968円	3,085,345,323円	8,103,645円
	老人保健	13,320,254円	299,697,224円	△ 286,376,970円
	後期高齢者医療	265,726,534円	240,595,161円	25,131,373円
	介護保険	1,594,819,747円	1,475,385,496円	119,434,586円
	簡易水道	493,783,647円	376,380,159円	117,403,488円
	公共下水道	1,691,060,357円	1,479,239,060円	211,821,297円
	公共用地	35,353,030円	36,121,940円	△ 768,910円
	個別排水処理	148,224,392円	145,629,699円	2,594,693円
農業集落排水	77,594,007円	86,087,241円	△ 8,493,234円	
水道事業会計	967,953,945円	1,020,363,640円	△ 52,409,695円	
合計	23,205,338,742円	21,435,562,020円	1,769,776,722円	
※町民1人当たり	約848,831円	約783,349円	約64,736円	